

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		埼玉県立大学		設置者名	公立大学法人埼玉県立大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成21年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
保健医療福祉学部	看護学科	120人	養教一種免	平成18年度	150人	13人	13人	7人
	健康開発学科 健康行動科学専攻	30人	中一種免(保健体育)	平成18年度	47人	34人	14人	11人
			高一種免(保健体育)	平成18年度			14人	
			養教一種免	平成18年度			25人	
	健康開発学科 口腔保健科学専攻	30人	高一種免(保健)	平成18年度	30人	6人	0人	0人
養教一種免			平成18年度	6人				
入学定員合計		180人	合計		227人	53人	72人	18人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成22年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成22年7月5日（月）

実地視察大学：埼玉県立大学

実地視察委員：安彦忠彦委員、佐藤弘毅委員、渋谷治美委員

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

- ・ 1学部2学科2専攻において教員養成を行っている。
- ・ 大学の教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準をみたとおり、良好に実施されている。

<講評>

- ・ 全学を挙げて教職課程の熱心な取組が行われており、今後も引き続き、教員養成の水準の維持向上に努めて欲しい。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

- ・ 保健・医療・福祉の分野において「連携と統合」を実現できるリーダーとしての専門職を教育目標とし、学校教育の保健・医療・福祉の分野におけるリーダー、コーディネーター、スペシャリストとしての役割を果たすことができる教師の養成を目指している。

<講評>

- ・ 教員養成に対する理念や構想が示されているが、それを明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように、今後も努めて欲しい。
- ・ 看護師の資格を持つ専門職としての養護教諭の養成は、非常に評価できる。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

<講評>

- ・ 教科に関する科目について、他学部他学科等開設科目が免許法施行規則に定める科目区分の半数を超えているため、改善すること。
- ・ 一部シラバスにおいて、免許法上含むべき事項が明示されていないため、シラバス上確認できるよう明示して欲しい。
- ・ 期末試験を15回の授業の中で行われているが、授業時間を15回確保するよう努めて欲しい。
- ・ 教職の授業として、授業に出席するのは当然のことであるため、出席のみで加点するような評価方法は見直すこと。
- ・ 看護学の専任教員が不足しているため、早急に改善すること。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

- ・実習校の確保は、母校実習を原則としている。
- ・事前に実習校の担当教員と指導項目及び評価等について共通理解を図っており、教育実習期間中には、実習生全員に対して巡回指導を行っている。

<講評>

- ・実習校との連携は大変評価できる。実習の成果を上げられる様、今後も努力をお願いしたい。
- ・母校実習については、中央教育審議会でも大学側の対応や評価の客観性の確保の点で課題も指摘されており、県や市の教育委員会にも協力をお願いして、できるだけ避ける方向で検討して欲しい。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

- ・平成20年度より「埼玉県立大学学生ボランティア派遣事業」を新設し、周辺の市教育委員会に対して学生ボランティアを必要とする学校を公募、学生を派遣している。
- ・派遣にあたっては、健康診断、発達障害に対する事前指導、活動終了後には学生の情報交換の場を設け、指導教員が学生の相談に応じている。
- ・上記のほか、県教育委員会の「スチューデントサポーター」「小学校体育指導アシスタント派遣事業」について、大学を通じて学生ボランティアを募り活動が行われている。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<講評>

- ・他校と比べ教員就職者数も多く、教員養成に対する教育委員会等の評価も高い。
- ・教員免許の他、看護師資格取得のためのカリキュラム等もあり、教員免許取得希望者が途中で諦めてしまわぬよう、履修指導等学生をサポートして欲しい。
- ・看護師養成カリキュラムもあり、実習等授業が過密となっている中で、教職課程の科目の講義に学生がしっかりと参加できるよう、授業時間の確保をお願いしたい。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・教務運営部会のもとに教職科目運営WGを設置し、教職科目全般の運営を行っている。委員会の構成は、教職課程担当教員だけでなく、各学科から委員が選出されている。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

- ・ 学内施設・設備、教育機器等は学生数の規模に応じて整備されている。
- ・ 特に実習施設等は、充実している。
- ・ 図書については、保健系の大学ではあるが教職関係の図書も揃えられている。今後も限られた資源の中で更に充実していった欲しい。